

NEWS RELEASE

2012年8月10日
株式会社アスコエパートナーズ

報道関係者各位

自治体向け行政情報発信OtoOツール 「子育てタウン」プロジェクト第一弾を神戸市と開始

株式会社アスコエパートナーズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：安井 秀行、以下アスコエパートナーズ）は、ネットを使った情報提供の新しい流れである OtoO（Online to Offline）ツールとしての新しい取組みとなる、自治体向け行政情報発信ツール「子育てタウンプロジェクト」を開始します。

また本プロジェクトの第一弾として、神戸市向け子育てタウンプロジェクト『ママフレ』に関する協定書を2012年8月10日に神戸市と締結いたしました。

アスコエパートナーズは、様々な人が様々な場面で、それぞれの目的に応じて、それぞれに合った手段で行政サービス情報を活用できる生活を実現するため、「ユニバーサルメニュー[®]」を活用した様々なネット関連事業を展開して参りました。

また、特に ePPP（e-Private Public Partnership：ネット上での官民連携）を軸に、官民の枠を越えた情報提供事業を進めています。

その中で、今回は行政情報向け OtoO ツールとなる、子育てに特化した行政情報発信サービスとして「子育てタウンプロジェクト」を開始いたしました。

また同プロジェクトの第一弾として、神戸市向け子育てタウンプロジェクト「ママフレ」を実施いたします。

子育てタウンでは、出産時に重要な役割をもつ母子手帳健康手帳など「紙媒体」と、最近の子育て世代（ママフレ世代）に、より身近な「ネット媒体」をつなぐ当社『メディアブリッジ』（特許出願中）機能を活用し、紙やネットなどメディアを越えた市民への情報発信を実現します。

特に、子育てタウンでは、企業で行われている OtoO の「ネットからリアルへ」の送客モデルを行政サービスにも応用し、子育て世代（ママフレ世代）に身近なネットでの情報収集と子育てタウンサイト上での SNS 機能を組み合わせて、リアルな行政制度の利用へ結びつける新しい手法の確立を目指しています。

また、株式会社オプトがスポンサーを募集し、参画した民間企業が持つ豊富なコンテンツを、自治体が無償で活用できる『CAP: コンテンツアライアンスパートナーシップ』を実現します。これにより自治体側の負担を極力抑えつつ、ネット上での様々なコンテンツの活用を実現する予定です。

具体的には、大手食品メーカーによる食育コンテンツや、金融機関による子育て費用節約テクニック、衣料メーカーによる子ども服簡単コーデ術など、ママフレ世代も楽しめて、子育てを便利に楽しくするコンテンツを提供していく予定です。

【子育てタウン「ママフレ」の概要】

- ・子育て関連行政サービスに特化した、紙媒体（リーフレット）と Web サイトのミックスメディア。
- ・活字離れしている世代に向け、行政専門用語や難しい言葉をなるべく使わず、易しい言葉で行政サービス情報を提供。
- ・ユニバーサルメニュー®を活用することで行政サービスをわかりやすく整理し、市民が知りたい行政サービスの検索性を向上。
- ・上記行政サービス情報のほか、行政サービス利用者のコエ（声）や、日々の育児に役立つコンテンツを提供。ママフレサポーター企業が持つ豊富な子育て関連コンテンツもあわせて配信（e-PPPの実現）。
- ・ママフレサイトコンテンツ、行政制度のそれぞれに「いいねボタン」を設置。行政制度利用をネットで共有し制度利用の促進や、子育てママ同士のバイラルマーケティングも促進。

【(参考)「ユニバーサルメニュー®」について】

ユニバーサルメニュー®とは、NPO 団体アスコエが開発し、一般社団法人ユニバーサルメニュー®普及協会が運営している行政サービス向け標準メニュー体系です。

子育てや教育、就職、住まいなどに関する様々な行政サービスを、市民にとってわかりやすく提供し、また自治体にとってはサイト構築・運用の効率化を実現します。

すでに、東京都葛飾区、仙台市、福島市、経済産業省などで採用されています。

詳細は、 <http://www.asukoe.org/> をご覧ください。

[本件に関するお問合せ先]

「子育てタウン」プロジェクト

担当 荒尾、安井

TEL) 03-5148-8846

メール) town@asukoe.org

以上

参考資料【ePPPを活用したママフレの取り組み図】

